

在留邦人及び「たびレジ」登録者の皆様へ

2023年4月14日  
在カラチ日本国総領事館

～総領事館からのお知らせ～

(当館休館日の変更及びラマダン最終週の注意喚起)

#### 【ポイント】

○パキスタン政府より、4月21日(金)から25日(火)までの5日間をイードによる公休日とする旨の発表がありました。

○当館においても4月21日(金)及び25日(火)を休館日に変更の上、上記イード期間は休館とさせていただきます。なお、4月21日(金)及び25日(火)を休館日に変更することに伴い、休館予定日としていたスポーツの日(10月9日(月))及び Allama Iqbal Day(11月9日(木))を通常業務日に変更致します。

○昨年4月26日、カラチ大学において中国国籍の方等が被害に遭われるテロ事件が発生しております。イード期間中及びその前後、特にラマダン最終週は宗教心が高まるとされていることから、いつも以上にテロに対する警戒を怠らないことが重要です。

○また、この期間は一般犯罪が増加する傾向にありますので、犯罪被害等に遭わないように十分な注意が必要です。

#### 【本文】

1 パキスタン政府の発表によれば、イード(Eid-ul-Fitr)の公休日は4月21日(金)から25日(火)までの5日間と決定されました。これに伴い、当館も当初開館予定であった21日(金)及び25日(火)を休館日に変更の上、上記イード期間は休館と致します。なお、4月21日(金)及び25日(火)を休館日に変更することに伴い、当初休館予定日としていたスポーツの日(10月9日(月))及び Allama Iqbal Day(11月9日(木))を通常業務日に変更致します。

#### 2 テロ等に関する注意

これまでのお知らせにおいて、テロ攻撃の脅威情報に関する各種注意喚起を行っておりますが、昨年4月26日にはカラチ大学にて中国国籍の方等が被害に遭われたテロ事件が発生しており、特にラマダン最終週は、宗教心が高まるとされているため、再三とはなりますが、以下の注意点を参考に安全に配慮した行動をお願いいたします。

(1) 当地の各種報道等より最新の安全情報を入手するようにし、安全な行動を心掛ける。

(2) テロ等の標的となりやすい場所(宗教関連施設、政府機関、軍・警察等治安当

局施設（含む車両、検問所等）、報道機関等）には出来るだけ近づかないようにし、用事についても、短時間で効率的に行なうように心掛け、常に周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知した場合には、速やかにその場から離れるようにする。

（3）宗教行事や集会が行われている場所には、決して近づかない。

（4）移動途中等に集会等に遭遇した場合には、速やかにその場から離れる。

### 3 一般犯罪に対する注意

イード期間及びその前後には、買い出しや帰省のため、マーケット、銀行、バス停留所、空港付近は大変に混雑することが予想されます。これら多くの人々が集まる場所では、テロの標的となるリスクもあることに加えて、スリやひったくりなどの一般犯罪被害に遭うおそれもあるほか、車両の盗難・車上狙いなど、駐車中の車に対しての防犯にも十分な注意が必要です。さらに、帰省等により留守にする家が多くなるため、留守宅をターゲットにした「空き巣狙い」も毎年多発しております。つきましては、在留邦人の皆様におかれましては、以下の注意点に十分留意の上、危険回避に努めて頂きますようお願いいたします。

#### （1）一般犯罪対策

ア 夜の遅い時間帯の外出は極力避ける。

イ 外出する場合は近い距離であっても車を利用し、買い物などの用事は短時間で済ませることを心掛ける。

ウ 買い物等でやむを得ず人の多く集まる場所に行く場合には、貴重品はズボンのポケットなど、盗まれやすいところには保管しないように心掛け、携行品は出来るだけ手や体から離さないようにする。

エ 駐車する場合は、外から見えるところにカバン等を置かず、警備員のいる駐車場を極力利用するようにし、車の乗降時は周囲の状況に細心の注意を払い、不審な状況を察知したら速やかにその場から離れる。

オ 乗車中は必ずドアロックをして、すべての窓を閉める。

#### （2）空き巣等の対策

ア 留守時はもちろんのこと、在宅時であっても必ず施錠する。

イ 来訪者がきた場合、門・ドアを開ける前に必ず相手の身分事項や用件を確認する。また、警備員がいる場合には、独自の判断で門扉を開けないよう指導する。

ウ 使用人を雇用している場合、いかなる理由があっても第三者を勝手に敷地内（使用人部屋を含む）に立ち入らせないよう指導する。

エ 貴重品は、一見しただけでは分かりづらい、施錠できる場所に保管する。

オ 在宅中に不幸にして強盗に遭った場合には、被害を大きくしないためにも決して抵抗しない。

4 なお、外務省広域情報など当地で安全に滞在するための参考となる情報が以下のウェブサイトに掲載されておりますので、こちらも併せてご確認ください。

- 当館「安全情報配信用ツイッター」  
[https://twitter.com/CGJapanKRC\\_SFT](https://twitter.com/CGJapanKRC_SFT)
- 当館ウェブサイト  
<https://www.kr.pk.emb-japan.go.jp/j/>
- 外務省海外安全情報ウェブサイト（パキスタン）  
[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo\\_011.html#ad-image-0](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_011.html#ad-image-0)
- 緊急時の連絡先  
在カラチ日本国総領事館 電話（＋９２－２１）３５２２－０８００～１１

【問い合わせ先】

在カラチ日本国総領事館

電話：021-3522-0800～11      FAX：021-3522-0820

メール：[japan.consulate.karachi@kr.mofa.go.jp](mailto:japan.consulate.karachi@kr.mofa.go.jp)